

平成25年行政事業レビューシート

(文部科学省)

<b>事業名</b>	科学技術国際活動の推進		<b>担当部局庁</b>	科学技術・学術政策局		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成23年度・なし		<b>担当課室</b>	科学技術・学術戦略官(国際担当)付		科学技術・学術戦略官(国際担当) 長野 裕子		
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>政策・施策名</b>	科学技術・学術政策の総合的な推進 VII-4. 科学技術の国際活動の戦略的推進				
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	-		<b>関係する計画、通知等</b>	第4期科学技術基本計画				
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	研究者の派遣・受入等の国際交流を推進するとともに、戦略的な国際共同研究や政府間会合を通じ、各国と持続的な関係の構築を促進するための基礎的情報を把握する。							
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	我が国の国公私立大学・独立行政法人等の研究者の派遣・受入数を国別、期間別といった観点から調査し、諸外国との年間の研究交流状況等を分析する。							
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>	予算の状況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算	-	31	5	5	5	
		繰越し等	-	-	-	-	-	
		計	-	31	5	5	5	
	執行額	-	30	4.6				
	執行率(%)	-	98.3%	92.0%				
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標		成果実績	単位	22年度	23年度	24年度	目標値(年度)
	本事業は諸外国との年間の研究交流状況等を分析し、政策等の検討に必要な基礎的情報の把握を目的としており、定量的な指標による評価になじまない。			-	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標		活動実績 (当初見込み)	単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	報告書数			1 (1)※	1 (1)	1 (1)	1 (1)	
<b>単位当たりコスト</b>	5(百万円/報告書(見込))		算出根拠	※( )内は平成22年度「科学技術・学術に関する内外の動向調査・分析等」によるもの。 インプット:科学技術試験研究委託費 5百万円 アウトプット:報告書数 1				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	科学技術試験研究委託費	5百万円	5百万円					
	計	5百万円	5百万円					

事業所管部局による点検						
		項目	評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	本事業は、研究者の受入・派遣等の年間の国際交流状況等を調査・分析するニーズの高い事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		—			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	本事業は、企画競争により適切な委託先を選定している。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	調査結果は研究者の派遣・受入等の国際交流を推進するとともに、各国と持続的な関係の構築を促進するための基礎的情報として報道発表を行うとともに科学技術白書に掲載予定。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	<p>本事業は、諸外国との年間の研究交流状況等を分析することを目的とし実施されており、本事業を通じて得られた調査結果は毎年度公表され、科学技術白書に掲載されるなど、政策立案や各国との関係構築のための基礎的情報として活用されており、一定の成果があがっていることから、今後も本事業を継続することが重要である。</p> <p>なお、本事業は、契約の競争性や公平性、透明性を鑑みつつ企画競争によって適切な委託先を選定している。</p>					
外部有識者の所見						
外部有識者による点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事業内容の改善	<p>1. 事業評価の観点:当該事業は、研究者の派遣・受入等の国際交流を推進するとともに、戦略的な国際共同研究や政府間会合を通じ、各国と持続的な関係の構築を促進するための基礎的情報を把握する行う事業であり、契約・執行手続きの観点から検証を行った。</p> <p>2. 所見:競争参加条件等のより一層の見直しを図るなど、契約の競争性、公平性、透明性を確保すべきである。</p>					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
執行等改善	より多くの応札者が得られるよう入札説明会の充実を図るなど、競争性、公平性、透明性の確保を図っていく。					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	0198	平成23年	0037	平成24年	0218

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

文部科学省  
4.6百万円

我が国の国公私立大学・独立行政法人等と諸外国との年間の研究者交流状況等を分析し、研究者の派遣・受入等の国際交流を推進するとともに、各国と持続的な関係の構築を促進するための基礎的情報を把握する。



〔一般競争入札・委託〕

【A】  
(株)三菱UFJリサーチ&コンサルティング  
4.6百万円

我が国の国公私立大学・独立行政法人等の研究者の派遣・受入数を国別、期間別といった観点から調査を実施する。

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位:百万円)

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」に  
 おいてブロックごと  
 に最大の金額が支  
 出されている者  
 について記載する。  
 費目と使途の双方  
 で実情が分かるよ  
 うに記載)

A.(株)三菱UFJリサーチ&コンサルティング			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	業務担当職員	3.7			
業務実施費	国内旅費、通信運搬費	0.3			
一般管理費	直接経費の10%	0.4			
消費税及び地方消費税		0.2			
計		4.6	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)三菱UFJリサーチ&コンサルティング	我が国の国公私立大学・独立行政法人等の研究者の派遣・受入数を国別、期間別といった観点から調査を実施。	4.6	1	※

※同種の他の契約の予定価格を類推させるおそれがあるため非公表